

公共工事における脱炭素に関する取組みの評価について

福岡市では、「福岡市地球温暖化対策実行計画」を策定し、脱炭素の取組みを推進しております。

このたび、福岡市発注の公共工事において、脱炭素に関する、以下の取組みを行った場合、工事成績評価で加点評価を行うこととしましたのでお知らせいたします。

また、脱炭素に関する評価のめやすを作成しましたので、評価の参考としていただきますようお願いいたします。

1. 評価対象内容

○国土交通省「低炭素型建設機械認定制度」「GX 建設機械認定制度」の活用

(※令和6年1月19日追加)

○脱炭素に関する新技術情報システム「NETIS」登録技術の活用

○脱炭素に関する受注者独自の取組み

2. 評価方法

監督員評価の「創意工夫」において、加点

1つの内容につき、原則1点とし、最大2点までとする。

(監督員評価の換算値：100点満点中 0.4～0.8点)

3. 適用年月日

令和5年4月1日以降、契約する工事から適用

4. 添付資料

- ・工事成績評価における「脱炭素に関する取組み」評価のめやす

【問い合わせ先】

財政局技術監理部検査課 土木検査第1係

TEL:711-4191(1562)

公共工事における「脱炭素に関する取組み」評価のめやす

1. 内容

○国土交通省「低炭素型建設機械認定制度」「GX 建設機械認定制度」の活用

国土交通省「低炭素型建設機械認定制度」「GX 建設機械認定制度」に認定された建設機械の使用

低炭素型建設機械：ハイブリッド型油圧ショベル、電動型油圧ショベルなど

GX 建設機械：電動ショベル及び電動ホイールローダ

○脱炭素に関する新技術情報システム「NETIS」登録技術の活用

例) 登録技術のうち、**現場で**CO₂削減効果が見込める工法、設備、燃料などの活用
ソーラーパネル設置型現場事務所の使用

二酸化炭素排出量が少ない環境配慮型燃料の使用など

○脱炭素に関する受注者独自の取組み

例) 現場において、CO₂削減に効果があった取組みなど

2. 評価方法

監督員評価の「創意工夫」において、加点。

1つの内容につき、原則1点とし、最大2点までとする。

(監督員評価の換算値：100点満点中 0.4～0.8点)

3. 評価の対象とならない内容

- ◆ 設計で計上した内容
- ◆ 総合評価落札方式における技術提案
- ◆ CO₂削減に取り組んでいる団体や企業への寄付など
- ◆ 現場で直接CO₂削減が見込めない内容
 - 例) 製造段階でCO₂削減された製品の使用
 - 各種カーボンオフセット、各電力会社のメニューの活用など
- ◆ 一般的に普及した内容
 - 例) 省エネ工具の使用など

4. その他

○取組みを実施する場合は、施工計画書にその内容を記載すること。

また、施工方法に関わるものについては、必要に応じ、施工方法についても記載すること。

○「工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況」の提出が必要です。(別紙)

※脱炭素の取組みに限らず、工事特性・創意工夫・社会性等に関する取組みを実施する場合も同様です。

様式-34(1)

工事特性・創意工夫・社会性等に関する実施状況

工事名	○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○工事		受注者名	
項目	評価内容	実施内容		
□工事特性	□構造物の特殊性	<ul style="list-style-type: none"> 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工震度等の規模が特殊な工事 対象構造物の計上が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事 その他 		
	□都市部等の作業環境、社会条件等	<ul style="list-style-type: none"> 地盤の変形、近接構造物、地中構造物への影響に配慮する工事 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事 現道上での交通規制に大きく影響する工事 緊急時に対応が特に必要な工事 施工箇所が広範囲にわたる工事 その他 		
	□厳しい自然・地盤条件	<ul style="list-style-type: none"> 特殊な地盤条件への対応が必要な工事 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事 急峻な地形及び土砂流危険渓流内での工事 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事 その他 		
	□長期工事における安全確保	<ul style="list-style-type: none"> 12ヶ月を超える工期で、事故がなく完成した工事（全面一時中止期間は除く） その他 		
□創意工夫 自ら立案実施した創意工夫や技術力	■施工	<ul style="list-style-type: none"> 施工に伴う器具、工具、装置等の工夫 コンクリート二次製品等の代替材の適用 施工方法の工夫、施工環境の改善 仮設備計画の工夫 施工管理の工夫 ICT(情報通信技術)の活用 等 国土交通省認定の低炭素型建設機械の使用 		
	■新技術活用	<ul style="list-style-type: none"> NETIS登録技術のうち、 試行技術の活用 「少実績優良技術」の活用 「少実績優良技術」を除く「有用とされる技術」の活用 試行技術及び「有用とされる技術」以外の新技術の活用 ソーラーパネル設置型現場事務所の使用 		
	□品質	<ul style="list-style-type: none"> 土工、設備、電気の品質向上の工夫 コンクリートの材料、打設、養生の工夫 鉄筋、コンクリート二次製品等使用材料の工夫 配筋、溶接作業等の工夫 等 		
	□安全衛生	<ul style="list-style-type: none"> 安全衛生教育・講習会・パトロール等の工夫 仮設備の工夫 作業環境の改善 交通事故防止の工夫 環境保全の工夫 等 		
□社会性等 地域社会や住民に対する貢献	□地域への貢献等	<ul style="list-style-type: none"> 周辺環境への配慮 現場環境の周辺地域との調和 地域住民とのコミュニケーション 災害時など地域への支援・行政などによる救援活動への協力 その他 		